第20回プラスチック成形加工 学会年次大会を終えて

年次大会実行委員長

村田 泰彦*

第20回プラスチック成形加工年次大会は、江戸川区タワホール船堀を会場として、平成21年6月3日、4日の2日間、約800名の参加者を集めて開催されました。今回の年次大会は、特別講演、6つの特別セッション、8つの一般セッション、特別企画ヤングポスターセッション、一般ポスターセッション、企画展示で構成され、講演件数は、総計289件(特別講演2件、「青木固」技術賞受賞講演3件、基調講演6件、口頭発表175件、ヤングポスターセッション65件、一般ポスターセッション38件)と、年次大会とシンポジアを通じて当学会史上最高の総件数となりました。

本大会を振り返るにあたって触れておかねばならないことは、100年に一度と言われる経済不況と、会期直前に起こった新型インフルエンザ流行の渦中で、本大会が開催されたことです。特に、インフルエンザの影響により、開催が中止になるかどうかの瀬戸際まで追いつめられました。このような逆境の中、多数の参加者と史上最高の講演件数を集めて無事開催できたことは、まさに幸運と言えます。

本学会では、より広い情報発信と交流の場となるように、会員増加と会勢拡大を目指して積極的な活動を展開しています。本学会がさらに発展を続けるためには、裾野が広いと言われるプラスチック業界の新しい仲間、また、学生や企業の若手研究者・技術者、異なる分野の研究者・技術者の参加が欠かせないことから、本大会では、『集まれ!成形加工の元気な仲間～成形加工は新たな時代へ～』をスローガンに掲げ、2つの新しい取り組みを行いました。

1つ目として、現役学生や、卒業または修了後3年以内の企業の若手研究者・技術者が、ベテランと活発に議論し、交流を深めることで自己の啓蒙をはかる場を提供することを目的として、ヤングポスターセッション「～集まれ!次代の成形加工を担う若手研究者・技術者～」をはじめて開設しました。若手諸君の熱気を帯びた発表とディスカッションが繰り返されました。また、セッションに参加した若手諸君を懇親会に招待し、ベテランとの交流を深めてもらいました。これをきっかけとして、若くて元気な成形加工の新たな仲間が増えることを期待します。

2つ目として、昨年に引き続いて企画展示を開催しました。今回は、「一目瞭然!最新の射出成形」と題して、射出成形の歴史を物語る“機械遺産”から、最新の技術トレンドを網羅した成形機・金型・加工法、製品、計測技術の展示を行いました。ここでは、本物の展示を大きな特徴として、見て楽しい、役に立つ、また、学生や若手研究者・技術者にとっては教育的意義のある、壮大なスケールの展示会となりました。出展者には、経費自己負担の、ボランティアでご協力いただきました。このような展示は、主催者側にかかる負担が非常に重いのですが、本学会の目玉企画として、今後も是非続けていきたいと考えます。

特別講演は、まず大会初日に、高分子学会の前会長で、早稲田大学教授の西出先生に「機能性高分子材料の新しい領域」と題したお話をいただきました。環境に配慮した新しいエネルギー関係技術である、有機ラジカルポリマーを利用した二次電池の話題を中心として、有機高分子の未来への可能性について夢のある話をお聞かせいただきました。2日目は、富士フィルムファインケミカルズ(株)執行役員の品川様より「市場ニーズからの新商品・新事業創生について」と題した講演をいただきました。銀塩フィルムから液晶ディスプレイのワイドビューフィルムへの、富士フィルムの社運をかけた主力商品の展開を主導された経験談、特に、市場ニーズをいかに捉え、新規事業に結びつけていくかの方法をお話いただきました。不況を乗り越え、知恵と勇気を与えられた方も多いのではないのでしょうか。

一般講演では、情報発信・交流の場である大会のアクティビティを維持するためには、この経済情勢下においても、できるだけ多くの方に参加いただくことが必要不可欠と考え、今回は、欲張って6つセッションを設け、オーガナイザーを中心に積極的な講演募集活動を展開しました。特に、新材料や金型関係のセッションを開設し、他学協会で活動されている方に参加いただく機会も設けました。その結果、多くの講演が集まりましたが、その一方で、過密なプログラム構成となり、不満を抱かれた方もおられたかと察します。この点は、何卒、ご容赦いただきたいと存じます。

最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営にあたり多大なるご尽力をいただきました実行委員の皆様、セッションオーガナイザーの皆様、運営支援委員の皆様、そして、企画展示ならびに広告、カタログ・機器展示にご協力下さいました皆様、関係各位に心より御礼申し上げます。

* Murata, Yasuhiko
日本工業大学 機械工学科
埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 (〒345-8501)
2009.6.10 受理